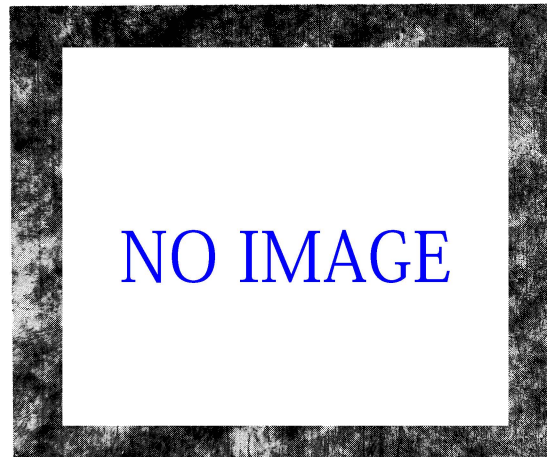


THE WORKS OF YOKOHAMA CINEMA
A Catalog Of Its Films 1923-1945

横浜シネマ商会の業績

映画作品目録 1923-1945



横浜市神奈川図書館 編

THE WORKS OF YOKOHAMA CINEMA
A Catalog Of Its Films 1923-1945

横浜シネマ商会の業績

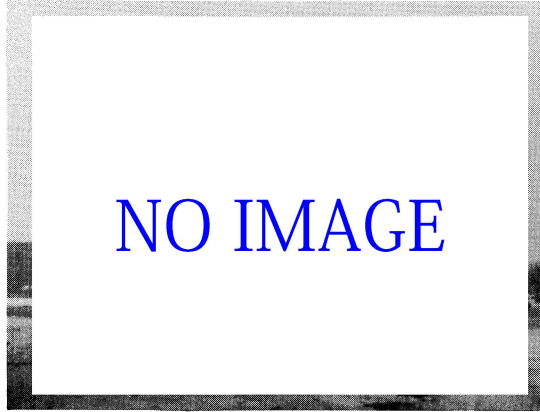
映画作品目録 1923-1945



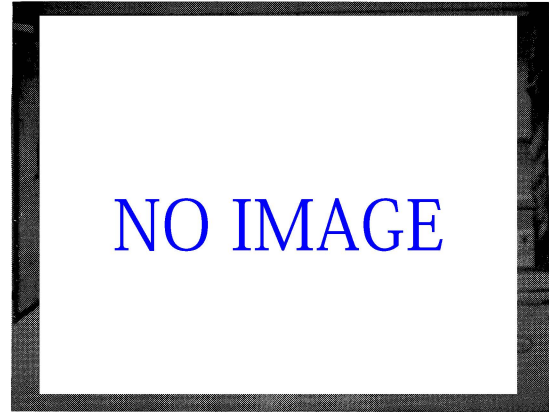
Eisuke Saeki, the founder (1895-1973)

横浜市神奈川図書館 編





飛行船による震災前の京浜（大正12年）



文福茶釜（昭和3年）



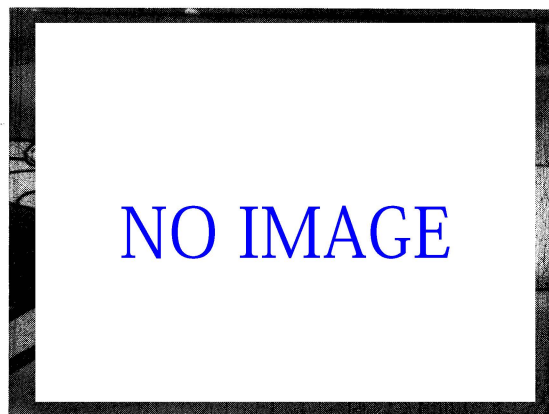
動物オリンピック（昭和3年）



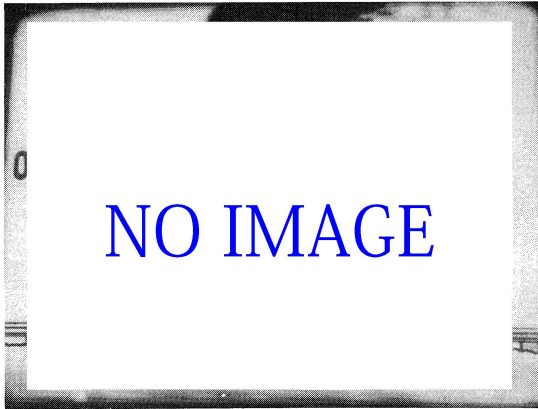
太郎さんの汽車（昭和4年）



猿正宗（昭和6年）



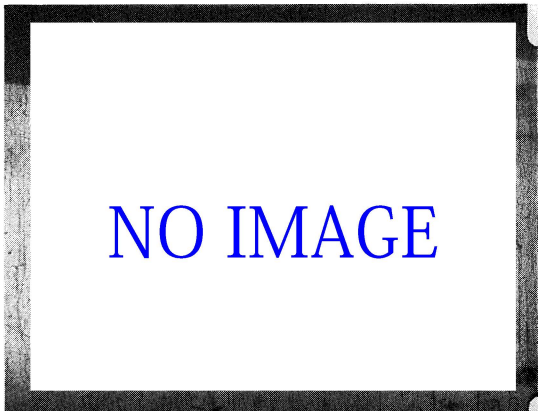
空の桃太郎（昭和6年）



汽車の発達 (昭和7年)



海の世界線 (昭和8年)



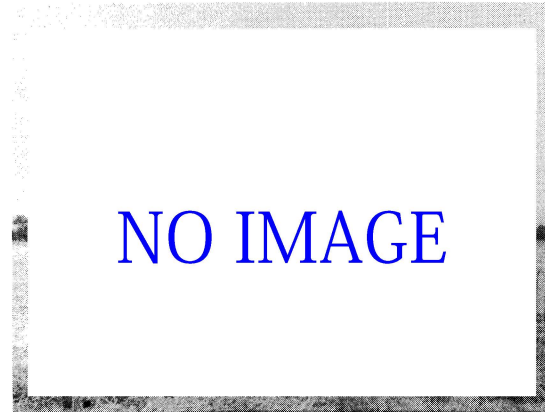
お猿の大漁 (昭和9年)



北進日本 (昭和9年)



新潟と佐渡 (昭和10年頃)



札幌と十勝 (昭和11年)

まえがき

横浜市神奈川図書館は昭和62年10月21日に横浜市で12番目の図書館としてオープン以来、地域の皆様に親しまれて参りましたが、平成9年10月におかげさまで開館十周年を迎えることができました。

図書館ではこの節目を記念して、地元の企業で、戦前に映画製作所として全国に名を馳せた「横浜シネマ商会」（現社名 ヨコシネディーアイエー）にスポットライトを当て、同商会が製作した映画作品の目録作成と上映会の計画を平成7年春より進めて参りました。

多くの方々のご協力もあり、映画目録の方は本書「横浜シネマ商会の業績：映画作品目録 1923-1945」として結実し、上映会の方は、「よみがえる戦前の幻の名画たち～横浜シネマ商会の映像世界～」と題して、平成10年3月28日（土）に開催する運びとなりました。

本書はもとより完全な目録ではありません。同商会が製作した官公庁や企業のPR映画で、目録に収録されていないものが多数あると思われるし、また目録中にあるものでも、さらなる調査で同商会の作品と確定する必要があるものも少なくありません。編者としては、今後の研究により、本書が改訂され充実していくことを切に望んでおります。

本書の作成に当たり、以下の方々にお世話になりました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

（順不同）

ヨコシネディーアイエー専務取締役 須釜逸雄様

プラネット映画資料図書館代表 安井喜雄様

東京国立近代美術館フィルムセンター研究員 入江良郎様

郷土映画史研究家、シネマトーク代表 丸岡澄夫様

平成9年12月1日
横浜市神奈川図書館
篠崎順一（編者）

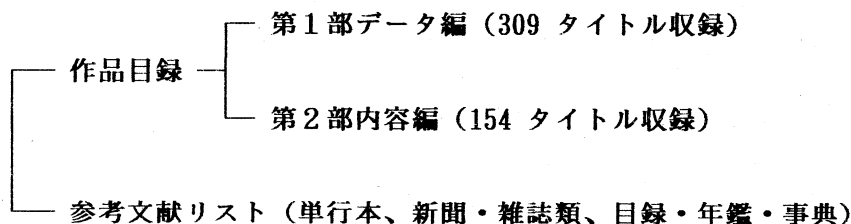
目 次

	ページ
口 絵	
まえがき	I
目 次	II
凡 例	III～V
作品目録・第1部データ編	1～44
作品目録・第2部内容編	45～92
参考文献リスト	93～94

【 凡 例 】

I 本書について

横浜シネマ商会が大正12年から昭和20年頃までに製作した映画作品を収録しています。
収録作品数は309 タイトルです。
本書の構成は次の通りです。



II 作品目録の見方

A 作品目録・第1部データ編

- 作品はタイトルの50音順に配列されています。
- 収録情報は先頭にアスタリスク(*)を付し、各情報ソースごとに独立して掲載してあります。
- 収録情報の末尾かっこ内に情報ソースを明示しました。

?美はしのブラジル →南十字星は招く

* (1)T(3) 昭和13年5月7日検閲(5) 5巻/1102m(6) 実写、風俗 (『映画検閲時報』v29 -p752)

お猿の大漁

* (1)T(2) [原案・脚色] 青地忠三 [作画] 村田安司 [音楽] コロムビア・オーケストラ [指揮] 杉田良造(3) 昭和9年1月発売(4) 1巻/270m/10分(5) アテナ・グラフ(8) 「村田安司の本格的トーキー第一作」 (『日本アニメーション映画』p209)

* (1)T-16mm(4)389ft(5)サクラグラフ (『映画ニュース』23号p21)

* (3) 昭和8年11月15日検閲(4) 1巻/246m(6) 動画、娯楽 (『映画検閲時報』v16-p689)

1 タイトルの前の記号 (?×△)

見出しタイトルの前に?×△の記号を付したものがありません。

? : 横浜シネマ商会の作品と確認できなかったが、横浜シネマ商会作品である可能性が高いもの。

[例] ?美はしのブラジル

× : 横浜シネマ商会の作品とされているが、他社(外国)作品である可能性が高いもの。

[例] ×ジラフの首はなぜ長い

△： 横浜シネマ商会が製作に部分的に関与しているもの。例えば他社の作品において、録音のみ担当しているような場合。

[例] △蟬の一生（十字屋文化映画部製作、横浜シネマ商会録音）

2 相互参照 (→)

内容的に関連のあるもの、同一作品の異版（抜粋版、縮小版など）、タイトルが異なるが同一内容であると推測されるものについては、相互参照マーク（→）をタイトルの後に付しました。

[例] 美はしのブラジル →南十字星は招く

3 カッコ内の数字(1)～(8)

カッコ内の数字(1)～(8)には以下のようなデータが収録されています。

(1) ⇨音声の有無、フィルム幅

S：サイレント版 T：トーキー版

[例] (1)T-16mm ⇨トーキーの16mm版フィルム

(2) ⇨製作、発売、配給などに関わった個人、団体

[] 内に役割を示し、続けて個人名（団体名）を記載しました。

[例] (2) [作画] 村田安司

(3) ⇨製作（または検閲、完成、発売、公開など）年月日

[例] (3) 昭和8年11月15日検閲

(4) ⇨巻数／フィルム長／上映時間

フィルム長はメートル（m）またはフィート（ft）で示しました。トーキー版とサイレント版のデータを区別する場合は、T-、S-を冠しました。

[例] (4) 1巻／270m／10分

(4) T-1巻／672ft ⇨トーキー版のデータ

(5) ⇨シリーズ名

一連のシリーズの中の一作品である場合、そのシリーズ名を示しました。

[例] (5) アテナライブラリー82

(6) ⇨ジャンル、内容

大まかなジャンルと簡単な内容を収録してあります。

[例] (6) 動画、娯楽

(7) ⇨受賞・選定記録

[例] (7) 昭和6年12月3日文部省優良映画賞

(8) ⇨特記事項

[例] (8) 「村田安司の本格的トーキー第一作」

B 作品目録・第2部内容編

- 作品タイトルの50音順に配列されています。
- 各タイトルは〔梗概〕、〔解説〕より構成されています。
- 収録情報は先頭にアスタリスク（*）を付し、各情報ソースごとに独立して掲載してあります。
- 収録情報の末尾かっこ内に情報ソースを明示しました。情報ソース表示のないものは編者によるものです。

石炭

〔梗概〕

*「五学年理科十三科『石炭』に準拠して編輯したもので、石炭が出来るわけ、採掘法、坑内構成の種類分、石炭の利用」（『叢』66輯p52）

〔解説〕

*「石炭の生成と採掘」「石炭の利用」を纏めたもの。（『叢ニュース』22号p17）

III 注意事項

1 表記上の注意

- (1) 漢字の旧字体は新字体に改めました。また一部の俗字については、一般的に用いられているに字体に改めました。

〔例〕 燈台の話 ⇨ 灯台の話

- (2) 促音、拗音は現代仮名遣いによる表記に改めました。

〔例〕 いそぎんちやく ⇨ いそぎんちやく

猿吉は勝った ⇨ 猿吉は勝った

2 編者による注記

編者による注記は（編者注：××）として、引用文中または文外に明示しました。

〔例〕 「片岡芳太郎が加わって第一作（編者注：「鼠と獅子」）発表。」

3 引用文中のかぎかっこ

引用文中のかぎかっこ「」については、文頭文末の引用を示す「」と区別するため、二重かっこ『』に改めました。

〔例〕 当時の広告では「我国最初のスクリーン・ミュージック」とある。

⇨「当時の広告では『我国最初のスクリーン・ミュージック』とある。」

4 その他

カメラマンの上野幸清氏につきましては、文献により「上野行清」と記載されているものもありますが、「上野幸清」に統一いたしました。（上野米子氏によると、「幸清」が本名であり、職業上は「行清」を使用していたとのことです。）

